

2015 年度専修学校熊本YMC A 学院

自己評価表

1. 学校の教育目標

専修学校熊本YMC A 学院はキリスト教を基盤とする教育機関であり、キリスト教の愛と奉仕の精神に基づいた価値観を大切にし、コミュニティから必要とされ、隣人に寄り添うことのできる人材育成を行っています。そのためにも専門教育と共に、一人ひとりの人格を尊重しながら大切な存在として関わり、一人ひとりに与えられた能力を最大限に活かし、その芽を共に見つけ育て共有を目指していきます。

専修学校熊本YMC A 学院はキリスト教の精神に基づき、下記の3つの教育方針に取り組んでいます。

1. 専門教育

社会の第一線で活躍できる専門技術を指導します。

(職場ですぐに役立つ優れた技術、就職に有利な資格取得)

2. キャリア教育

自らの個性と適性を活かせるよう支援します。

(自己理解、他者理解、就職技術等)

3. 人間教育

専門技術にふさわしい自立した社会人を養成します。

(社会性、協調性、コミュニケーション能力、社会や職場におけるマナー等)

2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 高度な技能を習得する専門教育の実践

- ・検定等の合格率70%以上
- ・基礎学力の養成

2. キャリア教育の実践

- ・専門分野での就職率70%以上

3. 人間教育の実践

- ・ボランティア活動体験
- ・異文化体験、社会見学、芸術鑑賞等
- ・自立心、自尊心の育成

4. 退学率6.5%以内

3.評価項目の達成及び取組状況

(1).教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に 周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

理念や目的の周知が不十分である。
専門学校選択の積極的な理由づけを検討する。

② 今後の改善方策

職業教育機関としての専門職の位置づけを強化する。
熊本YMCA学院の特色を明確にし、他校との差別化を図る。
マーケティング調査を行い適切なニーズを把握する。

③ 特記事項

熊本YMCA全体の総合力の良さを打ち出すことを目指してはどうか。

(2). 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
・事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	②	1
・教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

運営方針・組織体制は整備されているが、責任の所在が不明確である。
人事・給与に関する評価基準が不明確である。
学科における学生数と担当者数の割合が不平等である。

② 今後の改善方策

責任の所在と評価基準の明確化に努める。
全体の業務量を考慮した業務分担や人的配置に努める。

③ 特記事項

情報システム化による効率化は図られているが、研修等を通して更なる効率化を図りたい。

(3). 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4 ③ 2 1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 ② 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

各専門分野での研修等が少ない。
職員の専門職として・教師としての質の低下が心配である。
成績評価や単位認定基準等、学科によって異なる。

② 今後の改善方策

早期人材確保を含め、早めの体制づくりを行う。

ハード・ソフト問わず、試験的な導入・検討を行い、魅力のある教育を提供する準備を行っていく。

業界団体との連携を深めつつ、指導者育成に努める。

年間スケジュールを見直し、年間業にメリハリをつける。

③ 特記事項

職業実践専門課程の認可により編成・評価など良くなった。

(4).学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

就職率は高いが、卒業後の追跡調査や分析が弱い。
各学科共通で行うことで仕事の効率が上がるものもある。
就職課の強化が必要である。。

② 今後の改善方策

就職へ向けての各学科での取り組みを全体で共有化を図る。
各学科での同窓会（OBOG会）を実施する。

③ 特記事項

昨年度に比べ退学者数は半減した。
専門＝資格なので、各学科卒業必須検定を設け、検定受験・合否を成績にする。また、授業内容についても資格取得と連動させたらどうだろうか。

(5). 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

健康管理や心理相談をねらいとして保健室があるが、担任との情報共有が課題である。
担任によって学生への支援の質の差が出ている。
高校への出前授業等は増加にあるが、高校との連携については方向性・詳細を考える必要がある。

② 今後の改善方策

学生支援をねらいとした情報の共有化を図る必要がある。
 学校訪問を通して、更なる顔の見える関係づくりに努める。

③ 特記事項

就職相談室、保健室をより広いスペースに移動し、学生の居場所を確保した。

(6).教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	②	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

建物や設備の老朽化が課題である。

② 今後の改善方策

中長期計画に沿った適切な点検・補修を実施する。

③ 特記事項

現場で使用されている最新の道具やシステムの導入についても積極的に検討する。

(7).学生の受け入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1

① 課題

各学科の特性にあった募集がなされているかの検証が必要である。
海外研修は必要なのか、金銭的負担が大きいので検討する必要である。

② 今後の改善方策

募集業務は兼務ではなく、専属で行う方が良い。
海外研修に代わるものとして、国内での研修や資格取得を目指すなどどうか。
学生に一番身近な担任が、様々なガイダンスに足を運び、教育成果を伝える。

③ 特記事項

学納金の妥当性については、表示方法を含め検証が必要である。

(8).財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

① 課題

少子化と大手進出にたいする対策を講じる必要がある。

② 今後の改善方策

熊本県の特長や状態を把握し、短・中・長期での経営プランとアクションプランを学科に立てさせて、実行できるようにしてはどうか。

③ 特記事項

有識者を経営部門にいれてはどうか。

(9).法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

① 課題

自己評価は実施されているが、課題に対する改善への実感がない。

② 今後の改善方策

自己評価における課題と改善点の共有化を図る。

③ 特記事項

自己評価の結果についてはホームページにて公開している。

(10).社会貢献・地域貢献

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

社会貢献や地域貢献が時として負担とを感じる場合がある。

② 今後の改善方策

学生からのボランティアニーズへの発掘と、力を持つ学生の活動の場を設ける。

③ 特記事項

地域社会を対象としたセミナーの実施、教育訓練受託については積極的に実施している。

(11).国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	③	2	1
・受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	③	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1
・学内で適切な体制が整備されているか	4	③	2	1

① 課題

専門学校の入学においては留学生が安心して勉強できる環境整備が必要である。
留学生の資格取得に関しては検討すべきであり課題かと思う。現場（日本）での受け入れ、就労ビザ
についてなど、まだまだ課題が多い。

② 今後の改善方策

人的体制、言葉、視覚支援、生活支援を整える必要がある。

③ 特記事項

受け入れ、また、卒業後を考えた関わり（支援）での支援体制の充実が大切である。